

広島大学病院

Hiroshima University Hospital News

No. 31
2014. 1

ニュース



- 年頭にあたって
- 診療棟スポット「健康情報プラザ」
- 気になる病院の言葉「大腸カプセル内視鏡」
- ニュースアップ
 - カープ新人選手5人が体力測定
 - 市民が手術ロボットの操作を体験
 - 小児がん中国・四国ネットワーク会議
 - 診療棟でクリスマス会
 - ハイブリッド手術室の治療公開
- インタビュー
 - 口腔健康科の杉山勝教授
- は(歯)笑がお写真コンテスト2013
- お知らせ
 - 駐車場を有料化
 - 出生前遺伝学的検査
 - 渡航外来開設
- 催しのご案内

ご自由にお持ち帰りください。

初日の出に映える入院棟(2014年1月1日撮影)

年頭にあたって

病院長 茶山 一彰

新年おめでとうございます。

昨年は東京での2020年オリンピック・パラリンピック開催が決まり、地元も広島東洋カープのクライマックスシリーズ進出、サンフレッチェ広島のJリーグ連覇と明るいニュースに沸きました。

広島大学病院も昨年、念願の診療棟が開院し、新たな一歩を踏み出しました。なかでもスポーツ障害の予防や競技力向上を目的に設置されたスポーツ医科学センターは、2020年に開催が決まった東京オリンピック・パラリンピックに向けて、大きな役割が期待されています。また、小児がん治療の地域拠点となる「小児がん拠点病院」として全国7ブロック(15病院)のうち、中国・四国ブロックでは、広島大学病院が選定されました。さらに、災害時に衛星回線を利用してネットワークを構築できる、衛星通信車を全国の大学病院に先駆けて導入しました。

一方、霞キャンパスの車の渋滞緩和対策として、2014年2月に新立体駐車場(3層4段)をオープンします。供用開始と同時に駐車料金を有料化します。公共交通機関を極力ご利用いただければと願っております。診療面でも午後診療の拡大などを通じて患者さんの待ち時間短縮に取り組む次第です。

最後に、当病院が名実ともに先端医療の研究開発と地域医療、医療従事者教育の拠点として機能するよう、引き続き整備・充実に努めていく所存ですので、皆様の一層のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。



診療棟立ち寄りスポット①

2013年9月に開院した診療棟。どなたでも気軽に利用できるスポットをご紹介します。

健康情報プラザ

2階下りエスカレーター前。北田和広画伯の大作「舞楽」が出迎えてくれるスペースです。テーブルといすを配置した部屋には、国立がん研究センター発行の各種がんの冊子のほか闘病記、患者さん向けの医学書を備えています。インターネットによる医療情報の検索やDVD視聴もできます。オープン時間は9:00~16:00(土・日・祝日を除く)。





気になる

病院の言葉 ⑥

「大腸カプセル内視鏡」

口から飲み込むカプセル内視鏡を使った大腸検査が今年から保険適用になりました。広島大学病院でも検査が受けられます。これまでの大腸内視鏡検査との違いやメリット、デメリットについて、内視鏡診療科の田中信治教授に聞きました。



田中信治教授

■カプセル内視鏡とは。

カプセルは長さ約3cm、直径約1cm、重さ約3gのプラスチック製。両端に超小型のカラービデオカメラを組み込み、バッテリーとLED光源も内蔵しています。大腸を通る間に毎秒最高35コマの撮影が可能です。カプセルは肛門から排出され、使い捨てです。

■撮影された画像データを どのようにして取り出すのですか。

検査中は腹部にセンサーを張り、腰にレコーダーを装着します。ホルター心電図のようなイメージですね。センサーでカプセルの位置をキャッチしながら撮影データをレコーダーに記録します。その後、コンピューターに転送し画像化したものを読影する仕組みです。

■小さなカプセルを飲むだけなら、気軽に大腸がん検査を受けられそうですか。

材料費(カプセル内視鏡そのもの)が約8万3000円と高価なこともあり、保険適用になるのは「腹腔内の癒着などにより通常の大腸ファイバースコープが深部大腸まで挿入できない場合」です。自己負担分は検査費用を含め3万円余り(3割負担の場合)です。

■精度や安全性はどうでしょう。

広島大学病院など3施設で行った治験で、6mm以上のポリープなら普通の大腸内視鏡とほぼ同じ検出能力(感度94%)であることが分かりました。両サイドのカメラで撮るので見えない部分が少なくなることも期待されます。安全性も確かめられました。



写真提供/ギブン・イメージング社

■課題もありますね。

カプセル内視鏡検査では、腸内をきれいにするために前もって飲む下剤の量が従来の内視鏡検査よりやや多くなります。また、異常が見つかった場合、これまでの大腸内視鏡のように組織を採取したり病変を摘除したりはできません。画像の読影に1時間程度かかり専門読影医のトレーニングも必要です。まだまだ解決すべき課題はありますが、カプセル内視鏡が大腸がん死亡の減少に貢献することを大いに期待しています。

ニュースアップ

カープの新人選手5人が 体力測定で来院しました

広島東洋カープに加わった新人選手の体力測定が1月13日、診療棟5階のスポーツ医学センターで行われました。

大学病院でのカープ新人の体力測定は今回が初めてです。医師や理学療法士の指導を受けながら、ドラフト1位の大瀬良大地選手をはじめ九里亜蓮選手、田中広輔選手、西原圭大選手、中村祐太選手の5人が心肺機能や筋力、瞬発力など基礎体力を測定しました。

また、全身に47個のマーカーを取り付け、赤外線カメラ17台で投球フォームなどを科学的にチェックできる3次元動作解析にもチャレンジしました。

約3時間のテストを済ませた選手の顔には汗がにじんでいました。大瀬良選手たちは「想像していた以上にきつかったですが、不調の時などにデータを生かしていければ」と話していました。



心肺機能を測定する九里選手



動作解析に臨む大瀬良選手



手術ロボットを遠隔操作



シミュレーター体験の様子を見る参加者

市民が手術ロボットの 操作を体験

前立腺がんなどの手術に使われる手術ロボット「ダヴィンチ」の操作を体験できる講座が1月13日、診療棟3階のイベントホールで行われました。

市民ら約70人が参加した講座では、本物のダヴィンチと練習用のシミュレーターが持ち込まれました。モニターをのぞきながら親指と人差し指でコントローラーを動かして、4本のアームを自由自在に遠隔操作できることを体感しました。参加者の一人は「自分の手を動かしているよう。技術の進歩にびっくりしました」と話していました。

広島大学病院は2010年に中国・四国地方で初めてダヴィンチを導入して以来、これまでに約200例の治療を行っています。

小児がん中国・四国ネットワーク会議を 開きました

中国・四国地方の小児がん医療関係者が1月11日、広島大学病院に集まり「小児がん中国・四国ネットワーク会議」を開きました。

会議には昨年2月に中国・四国ブロックで唯一の小児がん拠点病院に指定された広島大学病院と16の連携病院の医師、各県の担当者、患者会代表ら約50人が初めて顔を合わせました。

ネットワークの各医療機関に加え、行政、患者会が連携してがんの子どもたちを支えていく体制づくりを進めていくことを確認しました。

兵庫県立こども病院の医師も会議に参加。各県の診療の実情を踏まえ近隣ブロックの拠点病院間の連携にも取り組むことになりました。



ネットワーク会議であいさつする
広島大学病院小児科の小林正夫教授

診療棟でクリスマス会を開催

昨年12月4日、診療棟で年末恒例のクリスマス会が開かれ、患者さんや職員が一足早くクリスマス気分を味わいました。

これまでの外来棟1階ロビーから、診療棟3階のイベントホールに会場を移して開催。ツリーやモールが飾られた真新しいホールを、入院中の患者さんや職員たち約200人が埋めました。

茶山一彰病院長が「笑うと免疫力が高まることが科学的に証明されています。今日は十分に楽しんで、病気がよくなるように頑張ってください」とあいさつ。院内のたんぽぽ保育園の園児たちのかわいい歌声に続き、院内学級で学んでいる小中学生がリコーダーやトーンチャイムの演奏と歌を披露しました。

後半はドイツのオーケストラで活躍したピオラ奏者の沖田孝司さんと、妻のピアニスト千春さんが登場。「きよこの夜」「川の流れのように」など、おなじみのメロディーが会場を包み、最後は「上を向いて歩こう」をみんなで歌って、楽しいひと時を過ごしました。



たんぽぽ保育園の園児たちによる合唱



沖田夫妻の息の合ったハーモニーにうっとり

最新鋭のハイブリッド手術室で 胸部大動脈瘤の治療を公開

昨年11月22日、診療棟のハイブリッド手術室を使った胸部大動脈瘤治療の様子を、患者さんの同意を得て報道関係者に公開しました。

ハイブリッド手術室は外科手術と、血管造影や血管内治療(カテーテル治療)を同時に行えるのが特徴です。2方向の血管造影装置と全身撮影ができる64列CTを併せ持つタイプとしては国内初となります。

今回治療を実施したのは広範囲に及ぶ胸部大動脈瘤がある85歳の患者さんです。足の付け根の血管からカテーテルを挿入し、大動脈瘤の部分にステントグラフト(ばね状の金属を取り付けた人工血管)を留置して広げ、内側から大動脈瘤破裂を防ぐ治療を行いました。

その際、頭や腕にいく動脈の一部を塞ぐ必要があるため、ステントグラフト治療に先だって別の動脈から人工血管でバイパスする手術を実施しました。一連の治療は約4時間で無事に終了しました。

心臓血管外科の末田泰二郎教授は「従来は別々に実施していた外科手術と血管内治療を一度に行うことで体への負担を減らせ、開胸手術が難しい高齢の患者さんにも優しい治療ができます」と話していました。

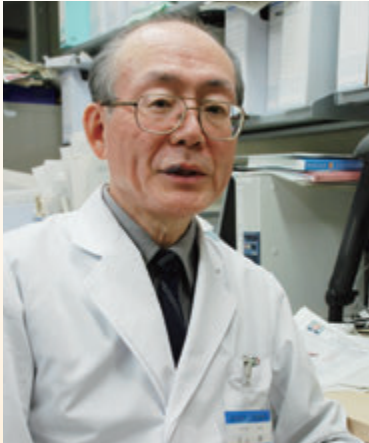


バイパス手術の様子



ステントグラフト治療

インタビュー



「定期的なチェックと 手入れでお口の 健康維持・増進を」

口腔健康科の 杉山 勝 教授に聞く

昨年8月、広島大学病院の歯科診療部門に口腔健康科が開設されました。診療科長の杉山勝教授に特色や今後の抱負などをインタビューしました。

— 歯科部門でもあまり耳慣れない診療科名です。

教育部門の口腔健康科学科に、診療科の看板もそろえる形で予防歯科から名称変更しました。お口の健康維持・増進を目的とすることでは、前身の予防歯科と基本的に変わりありません。

— 診療スタッフは。

歯科医師7人、歯科衛生士9人で診療に当たっています。

— どんな患者さんが対象ですか。

治療というよりは、お口の手入れやチェックを受けたい患者さんが多いです。また、他科で歯科治療を受けた後、定期的にチェックを受けに来られる患者さんもおられます。

— 具体的な診療の内容は。

ブラッシングの指導や歯石の除去を行っています。このほか、口腔乾燥症（ドライマウス）に対する唾液腺マッサージのセルフケアに取り組み、難病の一つであるシェーグレン症候群の患者さんなどにも効果があることを明らかにしつつあります。

— 学生教育の場になっている点も特徴と聞きました。

その通りです。口腔健康科学科には、歯科衛生士を養成する口腔保健学専攻と歯科技工士を養成する口腔工学専攻の2つの専攻があります。臨床実習の一環として、口腔健康科学科に所属するスタッフとともに学生も参加しています。

— 今後の抱負を教えてください。

高齢化が進む中で、糖尿病や脳血管障害などの基礎疾患を持った患者さんの診療もこれから柱の一つとしていくつもりです。



【すぎやま・まさる】神戸市生まれ。1979年大阪大学歯学部卒。大阪大学歯学部助手、広島大学歯学部助教授を経て2005年同教授。広島大学病院予防歯科診療科長、2013年8月から現職。専門は口腔保健学、高齢者歯科学。59歳。

「は(歯)笑がお写真コンテスト2013」を催しました

「は(歯)笑がお写真コンテスト2013」の入賞作品が決まり、昨年11月2日に診療棟3階のイベントホールで表彰式を行いました。

2回目となるコンテストには、10代から70代まで合わせて45人のみなさんから、郵送やメールで作品をお送りいただきました。人と人の絆を感じさせる心温まる写真が目立ちました。

審査の結果、最優秀賞には中山一さん(三原市)、優秀賞には国岡真弓さん(安芸高田市)、磯部律子さん(広島市安芸区)、黒飛義竹さん(広島市安佐北区)の3人、また患者さんの投票が最も多かった最多得票賞には本山栄里花さん(広島市中区)が選ばれました。

入選は次の6人の方です。

黒田景子さん(呉市)▽寺田健太郎さん(大阪府豊中市)▽新田将士さん(庄原市)▽長谷川優里さん(三次市)▽松村光磨さん(広島市西区)▽元石安海さん(三次市)

応募いただいた全ての作品は「いい歯の日週間」に合わせて11月15日までイベントホールで展示しました。



中山一さん(三原市)



黒飛義竹さん
(広島市安佐北区)



磯部律子さん
(広島市安芸区)



本山栄里花さん
(広島市中区)



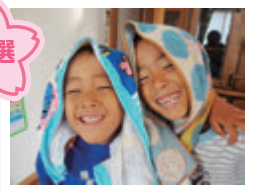
国岡真弓さん(安芸高田市)



元石安海さん(三次市)



寺田健太郎さん
(大阪府豊中市)



黒田景子さん(呉市)



新田将士さん(庄原市)



長谷川優里さん(三次市)



松村光磨さん(広島市西区)

お知らせ

患者さんなどの駐車場利用が2月10日から有料になります

広島大学病院は患者さんの駐車場利用については無料としてきましたが、新立体駐車場の供用開始に合わせて2月10日から有料化することといたしました。

外来患者さんの駐車料金は入構から30分を超えると、24時間までは一律300円です。ただし認証の手続きが必要ですので、受診後に駐車券を各診療科受付にお出してください。

また、入退院日や手術日の患者さんの駐車場利用も24時間まで300円となります。スタッフステーションで駐車補助券の交付を受けてください。

入院患者さんに付き添われるご家族の付添券は廃止します。

お見舞いなどで来院される方は30分を超えると以後30分ごとに300円（現行は200円）となります。ご来院の際は、なるべくバスなど公共交通機関をご利用いただきますようお願い申し上げます。

	種別	現行	改正後
外来患者	入構から入構後30分まで	無料	無料
	入構後30分を超え入構後24時間まで	受診認証により無料	受診認証により300円
	入構後24時間を超えた場合	30分毎に200円	30分毎に300円
一般来院者 (お見舞いの方等)	入構から入構後30分まで	無料	無料
	入構後30分を超えた場合	30分毎に200円	30分毎に300円
本院の許可、要請を受けた来院者 ・入院日、退院日、手術日の患者 ・急患による医師の呼び出し など、本院からの来院要請を受けた患者家族等	入構から入構後30分まで	無料	無料
	入構後30分を超え入構後24時間まで	無料(無料券を交付)	300円(補助券を交付)
	入構後24時間を超えた場合	無料(無料券を入構時間に応じた枚数交付)	24時間毎に300円(補助券を交付)
入院患者の付き添いの家族	—	400円(付添券を交付)	付添券は廃止。一般来院者と同様の扱いとする。

母体血を用いた無侵襲的出生前遺伝学的検査(NIPT)を2月から開始します

広島大学病院は母体血を用いた無侵襲的出生前遺伝学的検査(NIPT)の臨床研究を実施するための施設の認定・登録を日本医学会に申請し、昨年10月10日付で認可を受けました。このたび2月から検査を開始することとしました。

検査の予約は、現在かかりつけの医療機関より診療申込書をFAXしていただく形で行います。妊婦さんご本人からの予約は受け付けません。

中国地方の大学病院で初めて「渡航外来」を開設しました

昨年11月1日、海外渡航者(海外勤務、海外旅行、留学)の健康問題を主に扱う「渡航外来」を開設しました。中国地方の大学病院としては最初の施設となります。

当外来では、海外渡航に関連した健康相談や渡航前の各種ワクチン接種、英文診断書作成、帰国後の体調不良に対する診療を行います。

診察日 火曜日・木曜日 8:30~12:00、13:00~17:00(予約制)

受診料 渡航前の診療は保険診療外の自由診療扱いとなります。相談料(2,835円)のほか、ワクチン接種料、予防薬投薬料、診断書料が別にかかります。

予約は、外科・感染症外来受付(電話082-257-5468)。



催しのご案内 (2014年2月~3月)

がんと歩む人を支える

患者サロン

場所：臨床管理棟(旧医科外来棟)
3階 会議室3

がん治療と運動

2月20日(木) 13:30~14:30 講師：理学療法士 日當 泰彦

分子標的薬の基礎と皮膚のケア 講師：薬剤師 西垣内 亮

3月20日(木) 13:30~14:30 がん化学療法看護認定看護師 清本 美由紀

がん患者さんやご家族の交流の会

患者おしゃべり会

場所：入院棟5階 相談室

2月25日(火) 13:30~14:30

3月25日(火) 13:30~14:30

いずれも参加無料

お問い合わせ：広島大学病院 がん医療相談室
082-257-1525